

婚活実態調査2021

婚活サービスを通じて結婚した割合は16.5%で、3年連続過去最高を更新。
独身者（※）の約27.2%が婚活サービス利用経験があり、
出会いの手法の一つとして定着しつつある。
コロナ禍の婚活を前向きに捉え、オンライン活用が進む。

※恋愛もしくは結婚意向がある恋人のいない独身者

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘、以下リクルート）が運営する『リクルートブライダル総研』では、婚活の実態について詳細を把握するため、「婚活実態調査2021」を実施しました。ここに、結果の要旨をご報告致します。

婚活サービスを通じて結婚した割合が3年連続過去最高を更新（P4-6）

- 2020年婚姻者のうち、婚活サービスを通じて結婚した人は16.5%で3年連続過去最高を更新。
特にネット系婚活サービスを通じて結婚した割合が高い。
- 2020年婚姻者のうち、婚活サービスを利用していた人は33.1%。婚活サービス利用者においては、49.9%が結婚に至っており、その割合は過去最高に。
- 広義の婚活において、実施（利用）によって結婚できた人の割合は、婚活サイト（44.7%）や相談所（41.7%）、お見合い（22.2%）、知人に紹介を依頼（21.9%）、婚活パーティ・イベント（20.2%）。婚活サイトを利用して結婚した人の割合が最も高い。

恋愛もしくは結婚意向がある恋人のいない独身者の27.2%が婚活サービス利用経験があり、この数年間で増加傾向。特にネット系婚活サービスの利用経験率が一層高まり、出会いの手法の一つとして定着（P7-10）

- 恋愛もしくは結婚意向がある恋人のいない独身者において、27.2%が婚活サービスの利用経験があり、4年連続で増加（2017年15.6%→2018年18.1%→2019年23.5%→2020年25.5%→2021年27.2%）。男女ともに増加傾向にある。ネット系婚活サービスの利用増加が著しく、婚活サービス全体を底上げしている。
- 婚活サービスごとに性年代別の利用経験割合をみると、男女ともに全ての年代でネット系婚活サービスの利用経験率が増加。婚活サービスのイメージはこの2年間で、「効率的な手段」という認識が高まるなど変化している。

新型コロナウイルス感染症流行の中でも婚活を前向きに捉え、オンライン活用も進む（P11-12）

- 婚活に対する意識において、3割以上が「オンライン婚活であればコロナ禍でもできる」「婚活には新型コロナウイルスの流行は関係ない」「オンライン婚活は気軽にできる」と捉えている。同様に、オンラインデートに対する意識では、リアルデートと比較して「費用を抑えながら婚活ができる」「時間が自由」「周囲の目線を気にせず会える」の項目それぞれに3割以上の方が「あてはまる」と回答しており、「あてはまらない」と回答した層より多い。
- オンラインサービスの利用経験は結婚相談所で30.3%、婚活パーティ・イベントで20.1%と、ネット系婚活サービス以外でのオンライン利用が進んでいる。

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

■2021年調査(2020年のデータ) 1次調査

【調査方法】 インターネットによるアンケート調査

【調査期間】 2021年5月28日(金)~2021年6月3日(木)

【調査対象】 全国の20~49歳の男女

【有効サンプル数】 50,000サンプル

(調査にて120,000サンプルを回収し、その中から平成27年度国勢調査をもとに、未既婚×性別×年代(5歳刻み)24セルの人口構成比に合わせて50,000サンプルを抽出した)

■2021年調査 2次調査

【調査方法】 インターネットによるアンケート調査

【調査期間】 2021年6月5日(土)~2021年6月10日(木)

【調査対象】 <共通条件>

全国の20~49歳の男女で現在独身者(1次調査回答者)

※独身者とは、結婚経験のない未婚者および結婚経験のある(死別・離別の)現在未婚者

<個別条件>

・婚活サービス利用者(現在利用者・過去利用者):直近3年以内に婚活サービスを利用したことがある人

・婚活サービス非利用者:婚活サービスを利用したことがなく、「恋愛意向」もしくは「結婚意向」がある人

【有効サンプル数】 2,400サンプル

本調査では、婚活サービス利用有無・性別・年代・未婚状況別に定数にてサンプルを回収し、集計の際に、実際の婚活サービス利用有無(1次調査)、性別・年代・未婚状況別の人口構成(平成27年総務省統計局国勢調査)に合わせるために、サンプルに重みづけを行った(ウェイトバック集計)

ウェイトバックに使用した補正値は、1次調査を用いて各セルの出現率をもとに算出した

<本調査回収サンプル構成>

利用者								非利用者										
結婚経験なし						結婚経験あり(死別・離別)		結婚経験なし						結婚経験あり(死別・離別)				
子なし						子あり		子なし						子あり		子なし		
男性			女性			男性	女性	男性			女性			男性	女性	男性	女性	
20代	30代	40代	20代	30代	40代	20~40代	20~40代	20代	30代	40代	20代	30代	40代	20代	30代	40代	20~40代	20~40代
150	150	150	172	172	106	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150



<ウェイトバック補正後の本調査サンプル構成(全体構成比)>

82	25	10	68	20	4	7	10	491	338	310	428	223	216	81	87
(3.4%)	(1.0%)	(0.4%)	(2.8%)	(0.8%)	(0.1%)	(0.3%)	(0.4%)	(20.4%)	(14.1%)	(12.9%)	(17.8%)	(9.3%)	(9.0%)	(3.4%)	(3.6%)

※ウェイトバックによる補正を行っているため、補正後サンプル数に小数点が発生していますが、四捨五入して整数表記をしています。そのため、サンプル数の合計と誤差が生じておりますが、ご了承ください。 人口構成比算出元データ 平成27年総務省統計局国勢調査より

■過去実施調査(2016～2020年調査)

【調査方法】	調査年	1次調査				2次調査			
		2020年調査	インターネットによるアンケート調査				インターネットによるアンケート調査		
2019年調査									
2018年調査									
2017年調査									
2016年調査									
【調査期間】	調査年	1次調査				2次調査			
2020年調査	2020年調査	2020年5月15日(金)～2020年5月19日(火)				2020年5月22日(金)～2020年5月24日(日)			
2019年調査	2019年調査	2019年5月20日(月)～2019年5月27日(月)				2019年5月27日(月)～2019年5月31日(金)			
2018年調査	2018年調査	2018年5月14日(月)～2018年5月22日(火)				2018年5月24日(木)～2018年6月6日(水)			
2017年調査	2017年調査	2017年5月16日(火)～2017年5月23日(火)				2017年5月19日(金)～2017年5月23日(火)			
2016年調査	2016年調査	2016年3月19日(土)～2016年3月29日(火)				2016年3月25日(金)～2016年3月29日(火)			
【調査対象者】	調査年	1次調査				2次調査			
2020年調査	2020年調査	全国の20～49歳の男女				<共通条件> 全国の20～49歳の男女で現在独身者(1次調査回答者) <個別条件> ・婚活サービス利用者(現在利用者・過去利用者):直近3年以内に婚活サービスを利用したことがある人 ・婚活サービス非利用者:婚活サービスを利用したことがなく、「恋愛意向」もしくは「結婚意向」がある人			
2019年調査	2019年調査								
2018年調査	2018年調査								
2017年調査	2017年調査								
2016年調査	2016年調査								
【有効サンプル数】	調査年	1次調査				2次調査			
2020年調査	2020年調査	50,000サンプル				2,400サンプル			
2019年調査	2019年調査								
2018年調査	2018年調査								
2017年調査	2017年調査								
2016年調査	2016年調査								

利用者								非利用者									
結婚経験なし				結婚経験あり(死別・離別)				結婚経験なし				結婚経験あり(死別・離別)					
子なし				子あり				子なし				子あり					
男性		女性		男性		女性		男性		女性		男性		女性			
20代	30代	40代	20代	30代	40代	20～40代	20～40代	20代	30代	40代	20代	30代	40代	20～40代	20～40代		
150	150	150	161	176	113	150	130	150	150	150	150	150	150	150	170		
<2020年本調査回収サンプル構成>																	
97	36	15	84	35	9	10	13	477	329	297	433	214	204	70	76		
(4.0%)	(1.5%)	(0.6%)	(3.5%)	(1.5%)	(0.4%)	(0.4%)	(0.6%)	(19.9%)	(13.7%)	(12.4%)	(18.0%)	(8.9%)	(8.5%)	(2.9%)	(3.2%)		
<2019年本調査回収サンプル構成>																	
150	150	150	158	158	134	150	136	150	150	150	150	150	150	157	157		
<2019年調査補正後の本調査サンプル構成>																	
80	36	15	77	39	9	11	14	489	328	289	436	216	202	70	87		
(3.3%)	(1.5%)	(0.6%)	(3.2%)	(1.6%)	(0.4%)	(0.4%)	(0.6%)	(20.4%)	(13.7%)	(12.1%)	(18.2%)	(9.0%)	(8.4%)	(2.9%)	(3.6%)		
<2018年本調査回収サンプル構成>																	
150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150		
<2018年調査補正後の本調査サンプル構成>																	
53	26	11	58	28	5	6	5	508	338	292	449	226	209	88	98		
(2.2%)	(1.1%)	(0.5%)	(2.4%)	(1.2%)	(0.2%)	(0.3%)	(0.2%)	(21.2%)	(14.1%)	(12.2%)	(18.7%)	(9.4%)	(8.7%)	(3.7%)	(4.1%)		
<2017年本調査回収サンプル構成>																	
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	250	250	250	250
<2017年調査補正後の本調査サンプル構成>																	
38	26	9	54	29	6	6	5	528	338	290	456	226	204	27	61	50	47
(1.6%)	(1.1%)	(0.4%)	(2.2%)	(1.2%)	(0.2%)	(0.2%)	(0.2%)	(22.0%)	(14.1%)	(12.1%)	(19.0%)	(9.4%)	(8.5%)	(1.1%)	(2.6%)	(2.1%)	(2.0%)
<2016年本調査回収サンプル構成>																	
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	250	250	250	250
<2016年調査補正後の本調査サンプル構成>																	
44	33	8	62	36	6	9	6	534	372	220	476	224	138	38	100	46	47
(1.8%)	(1.4%)	(0.3%)	(2.6%)	(1.5%)	(0.3%)	(0.4%)	(0.3%)	(22.3%)	(15.5%)	(9.2%)	(19.8%)	(9.3%)	(5.8%)	(1.6%)	(4.2%)	(1.9%)	(2.0%)

※2021年調査と同様にウェイトバック集計を行った。人口構成比算出元データは2020年調査、2019年調査、2018年調査、2017年調査は平成27年総務省統計局国勢調査、2016年調査は平成22年総務省統計局国勢調査。

<その他>

※P5下のグラフは2019年調査(2018年婚姻)より集計方法を変更しています。同条件とするために、2018年以前調査を過去に遡及して再集計を行ったため、2018年調査までの公表数値と異なります。

※小数第二位を四捨五入している関係で、差分や合計値において、グラフ上の数値の単純計算と数値が異なる場合があります。

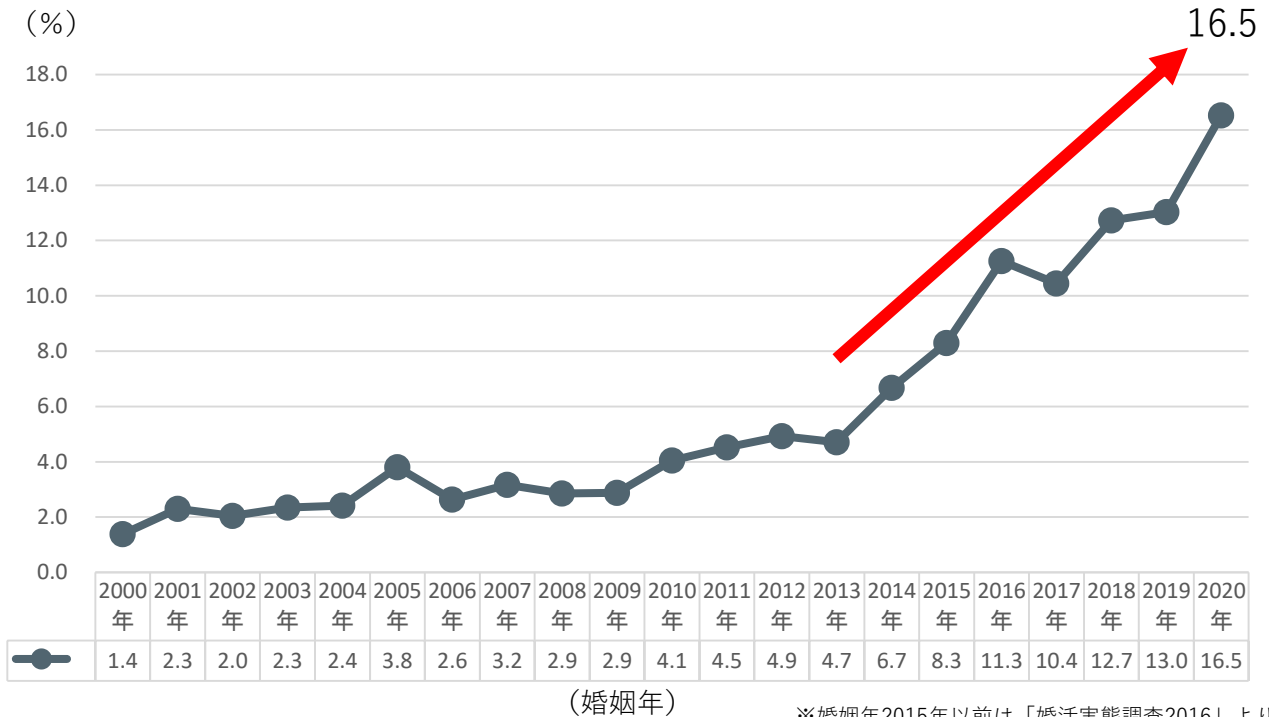
2020年婚姻者のうち、婚活サービスを通じて結婚した人は16.5%で3年連続過去最高を更新。特にネット系婚活サービスを通じて結婚した割合が高い。

■ 婚活サービスを通じて結婚した人の割合（1次調査／各年に結婚した人／単一回答）

※婚活サービス：結婚相談所、ネット系婚活サービス、婚活パーティ・イベントの3サービス

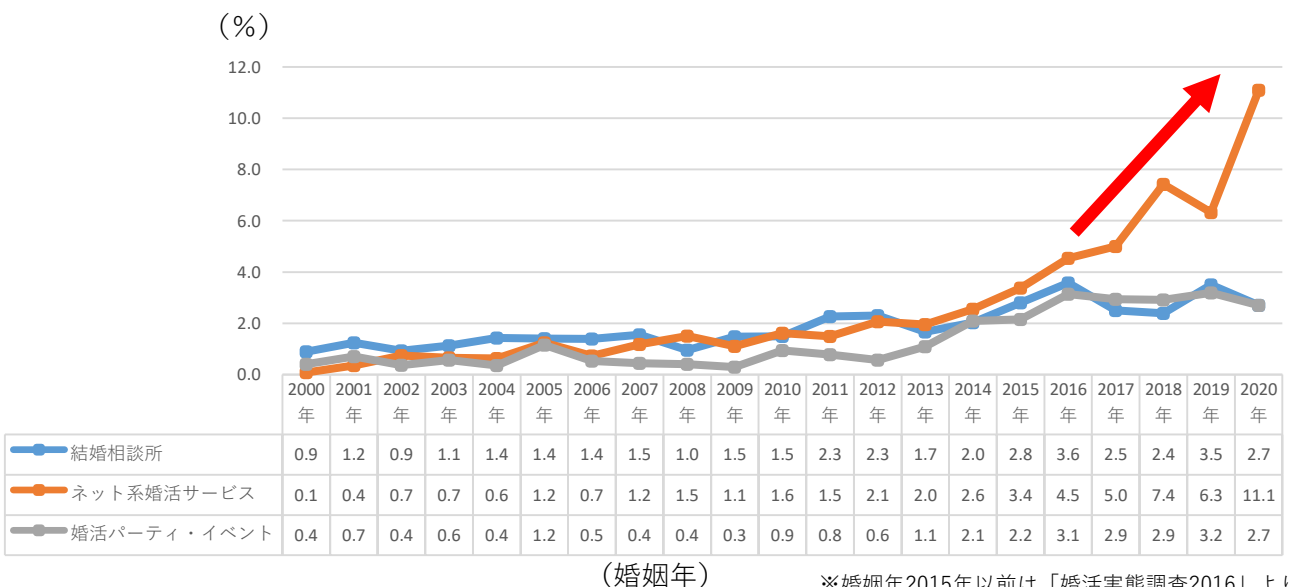
※婚活サービス（3サービス）のいずれかを利用し、そのサービスで「結婚できた」と回答した人の割合

※既婚者：初婚者および再婚者も含む



※婚姻年2015年以前は「婚活実態調査2016」より
2016年以降は、各年調査の結果をもとに作成

■ 婚活サービスごとの婚活サービスを通じて結婚した人の割合（1次調査/婚活サービスごと／各年に結婚した人／単一回答）

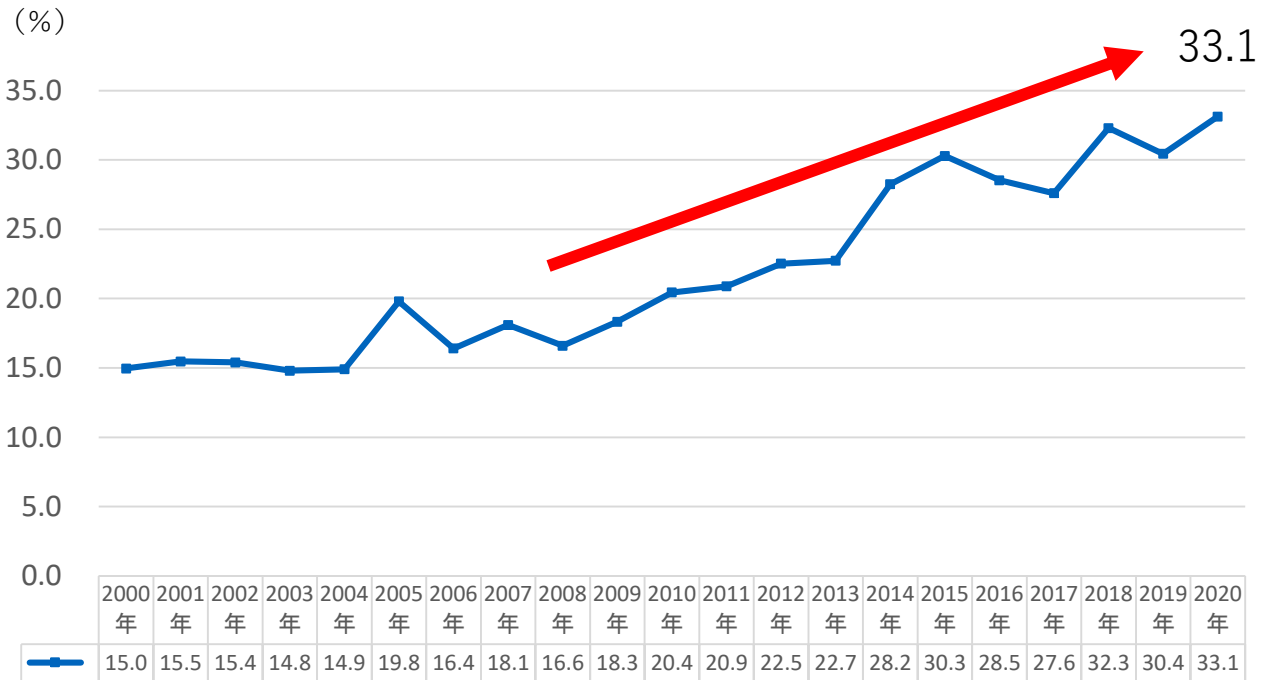


※婚姻年2015年以前は「婚活実態調査2016」より
2016年以降は、各年調査の結果をもとに作成

2020年婚姻者のうち、婚活サービスを利用していた人は33.1%。

婚活サービス利用者においては、49.9%が結婚に至っており、その割合は過去最高に。

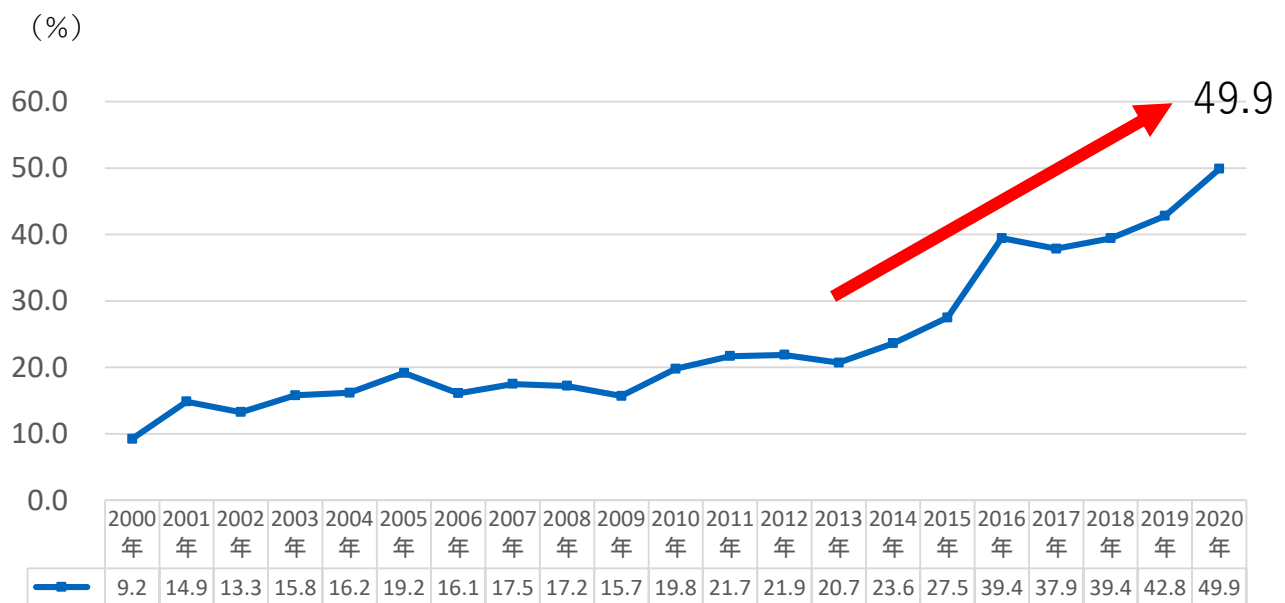
■ 各年に結婚した人のうち、婚活サービスを利用していた人の割合（1次調査/各年に結婚した人/単一回答）



(婚姻年)

※婚姻年2015年以前は「婚活実態調査2016」より
2016年以降は、各年調査の結果をもとに作成

■ 婚活サービスを利用していた人のうち、婚活サービスを通じて結婚した人の割合（1次調査/各年に結婚した人のうち、いずれかの婚活サービス利用者/単一回答）



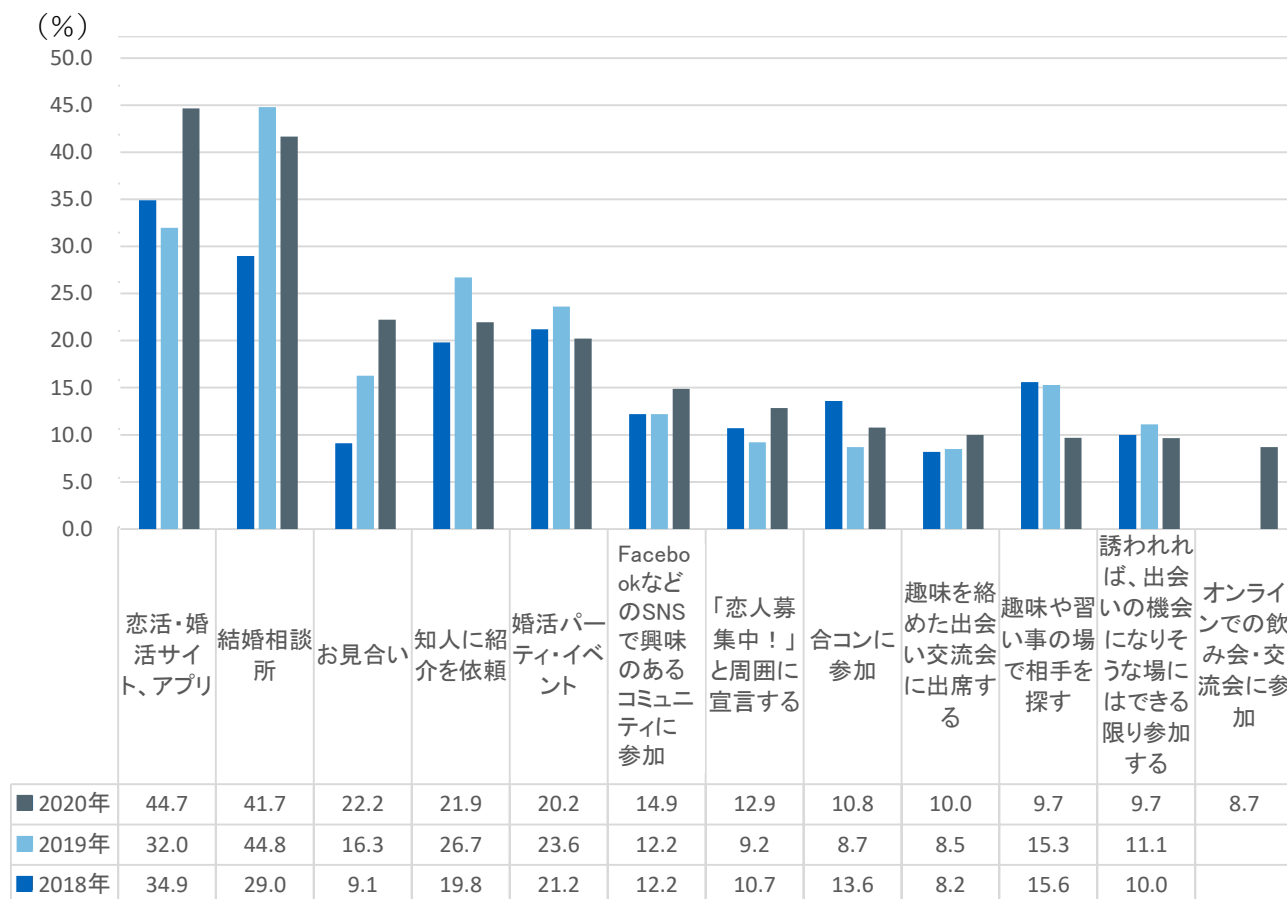
(婚姻年)

※婚姻年2015年以前は「婚活実態調査2016」より
2016年以降は、各年調査の結果をもとに作成

広義の婚活実施（利用）ごとの結婚した人の割合

広義の婚活において、実施（利用）によって結婚できた人の割合は、婚活サイト（44.7%）や相談所（41.7%）、お見合い（22.2%）、知人に紹介を依頼（21.9%）、婚活パーティ・イベント（20.2%）。婚活サイトを利用して結婚した人の割合が最も高い。

- 実施（利用）した婚活によって、結婚した人の割合（1次調査/各年に結婚した人のうち、各婚活を実施（利用）した既婚者/単一回答）



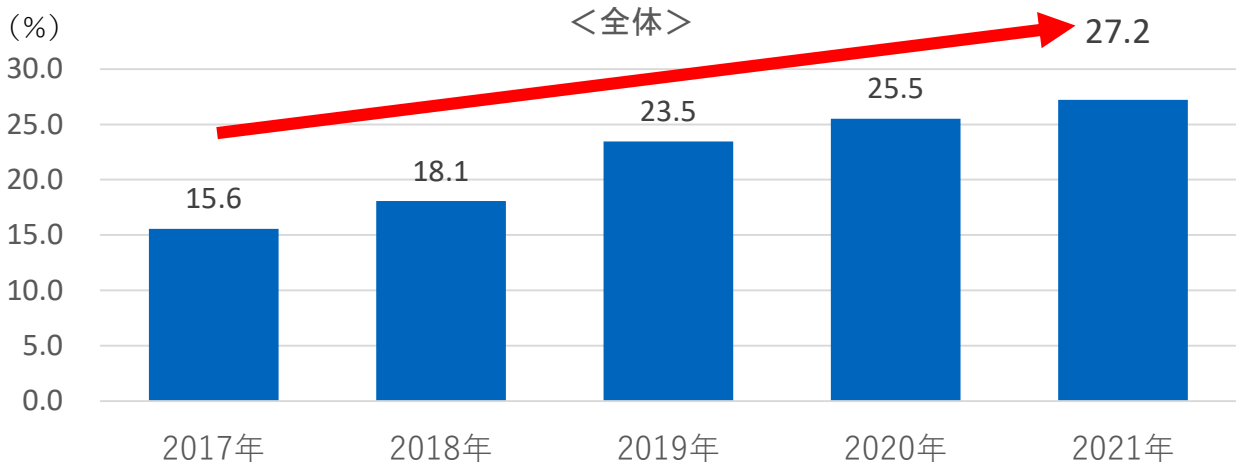
（婚姻年）

独身者の婚活サービスの利用経験（全体・性年代別）

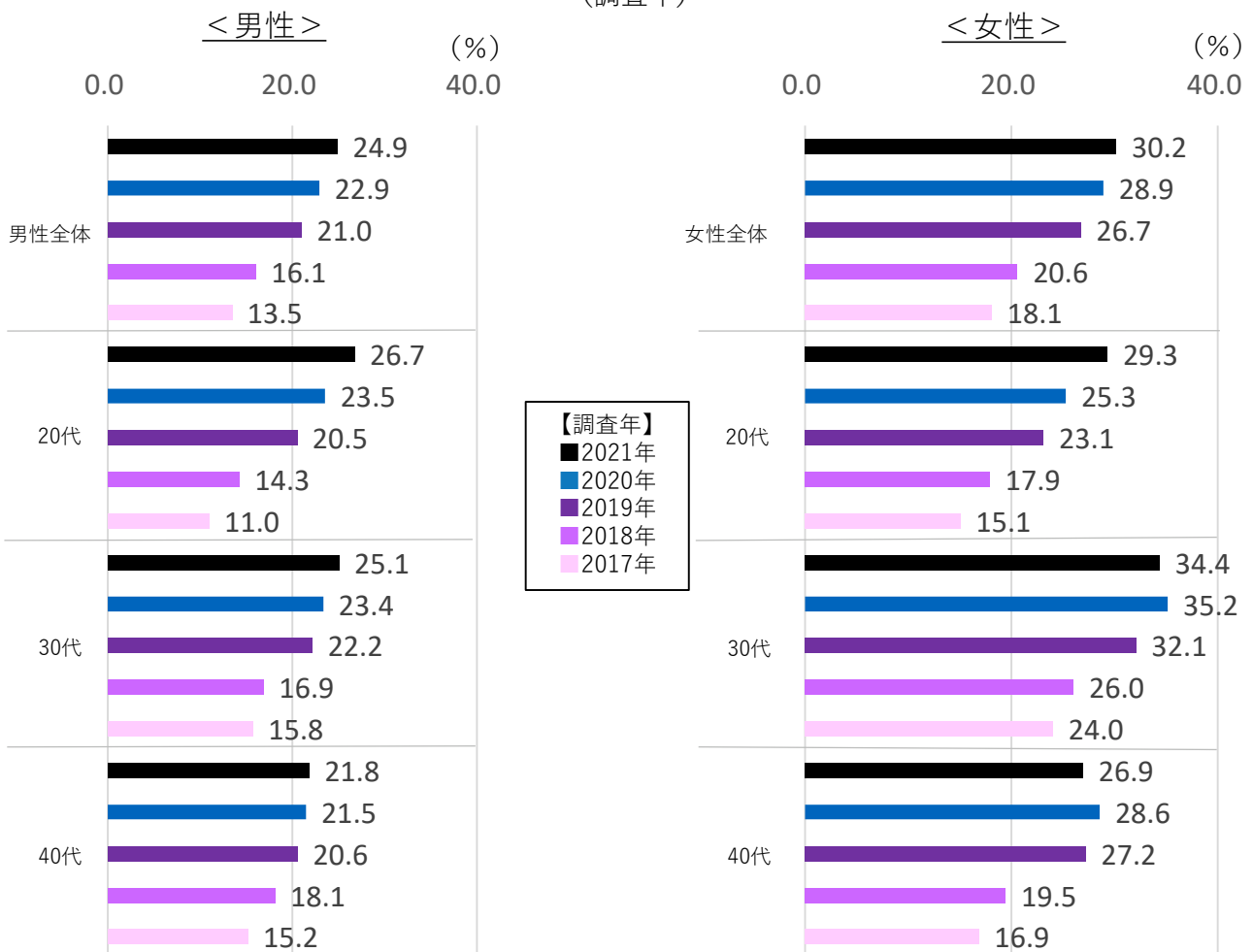
恋愛もしくは結婚意向がある恋人のいない独身者において、27.2%が婚活サービスの利用経験があり、4年連続で増加（2017年15.6%→2018年18.1%→2019年23.5%→2020年25.5%→2021年27.2%）。男女ともに増加傾向にある。

■ 婚活サービスの利用経験割合【全体・性年代別】（1次調査/恋愛もしくは結婚意向がある恋人のいない独身者/単一回答）

※婚活サービス：結婚相談所、ネット系婚活サービス、婚活パーティ・イベントの3サービス
 ※独身者：結婚経験のない未婚者および結婚経験のある（死別・離別の）現在独身者



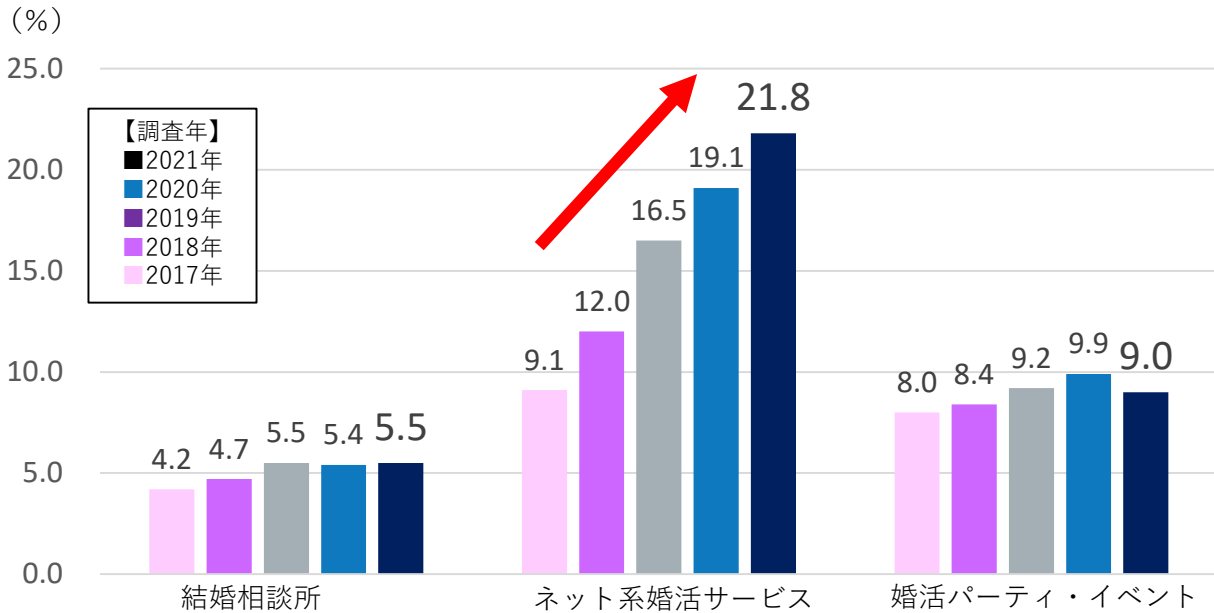
(調査年)



独身者の婚活サービスの利用状況（サービス別×性別）

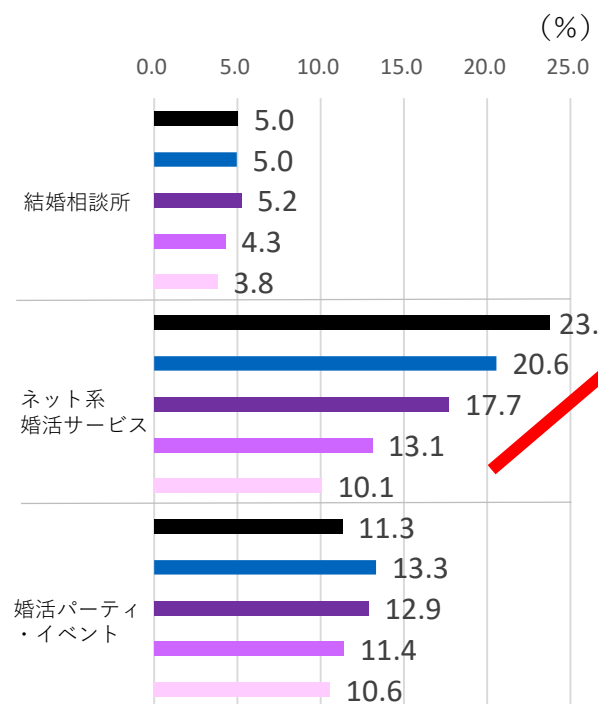
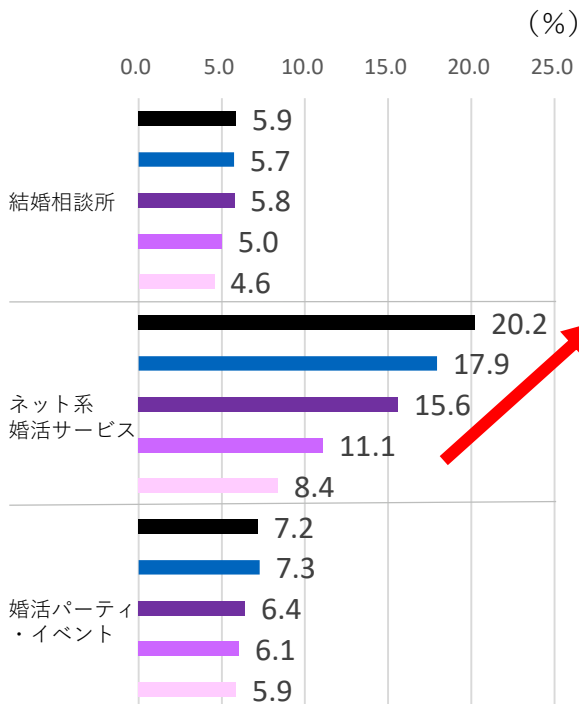
婚活サービスごとに利用経験割合をみると、ネット系婚活サービスの利用が増加し、婚活サービス全体を底上げしている。

- 各婚活サービスの利用経験割合【全体・性別】（1次調査/恋愛もしくは結婚意向がある恋人のいない独身者/複数回答）



<男性>

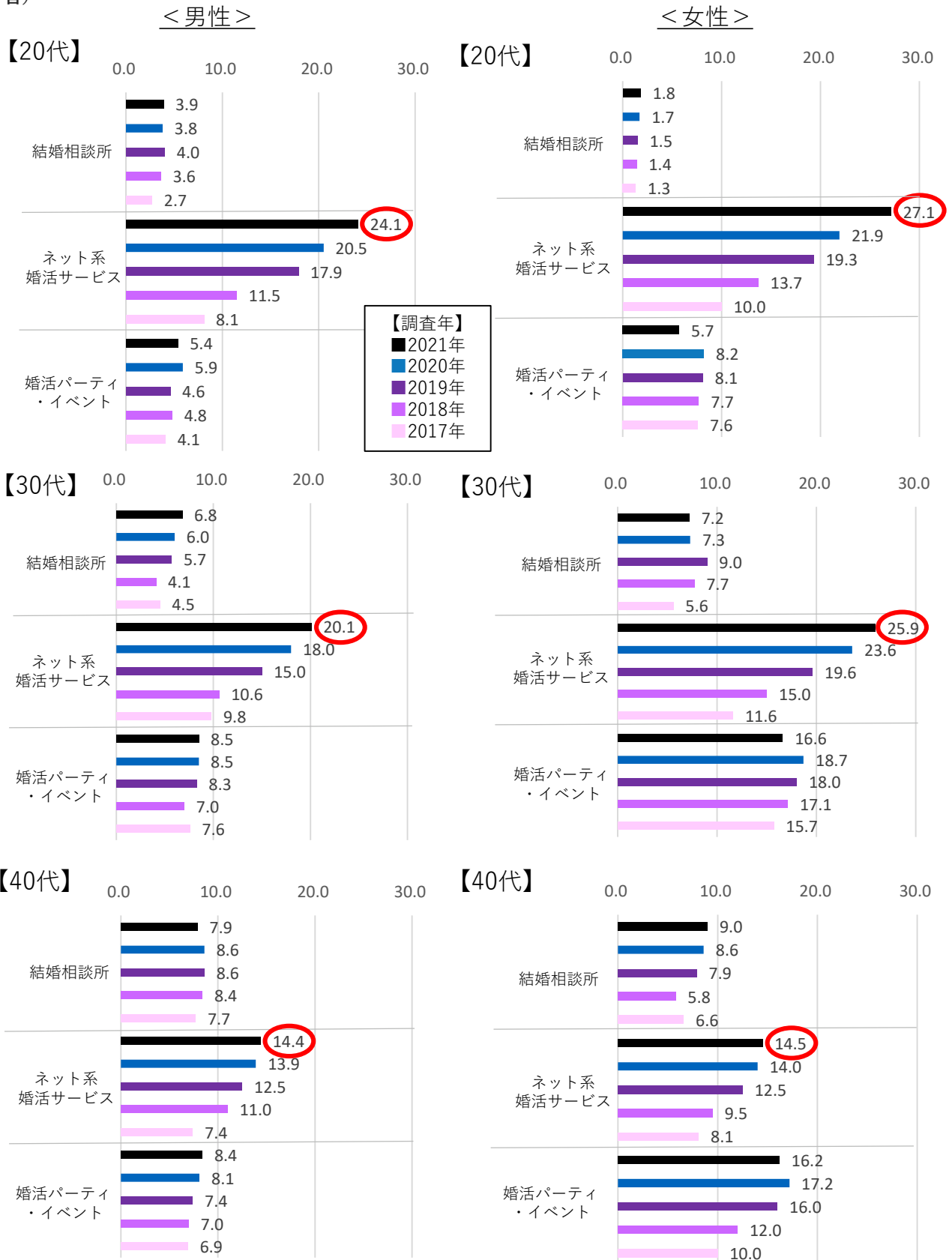
<女性>



独身者の婚活サービスの利用状況（サービス別×性年代別）

婚活サービスごとに性年代別の利用経験割合をみると、男女ともに全ての年代でネット系婚活サービスの利用経験率が増加。

- 各婚活サービスの利用経験割合【性年代別】（1次調査/恋愛もしくは結婚意向がある恋人のいない独身者/複数回答）



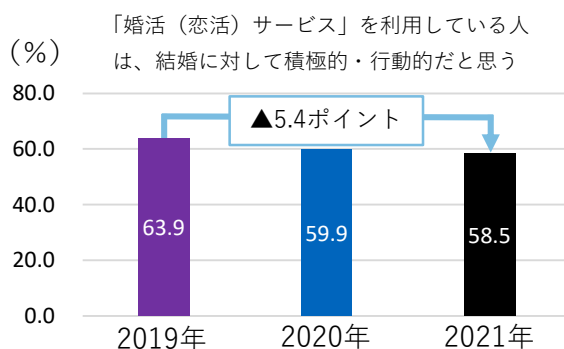
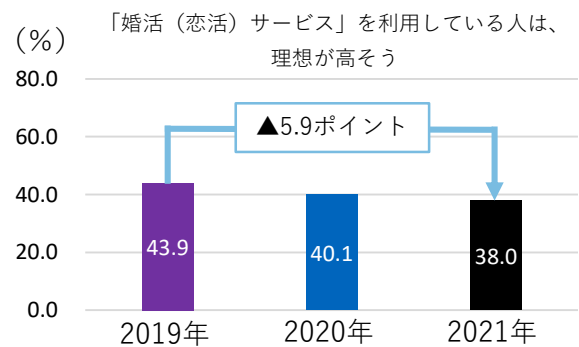
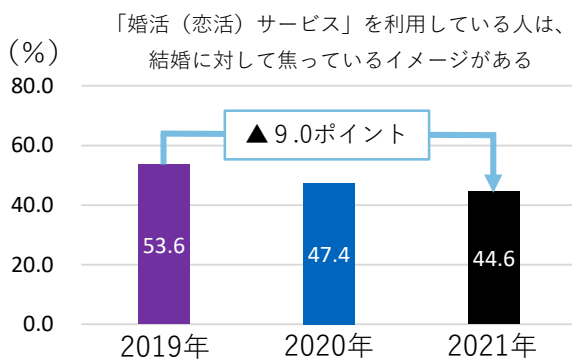
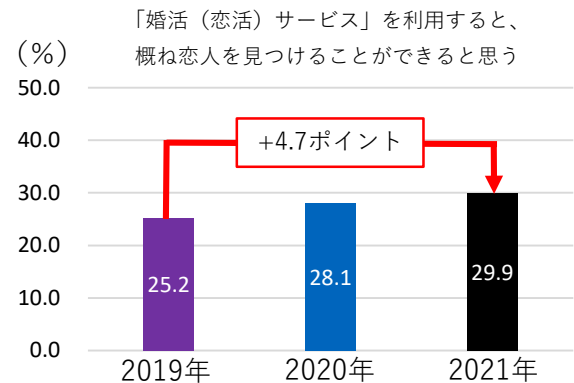
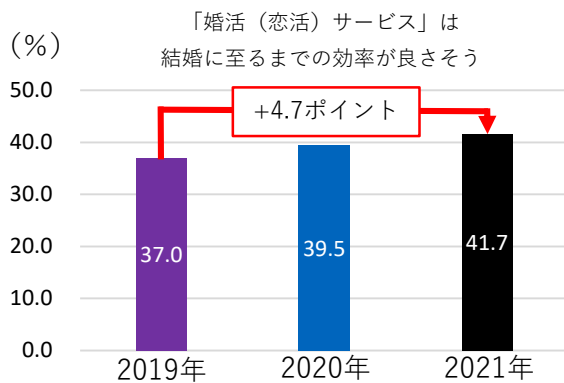
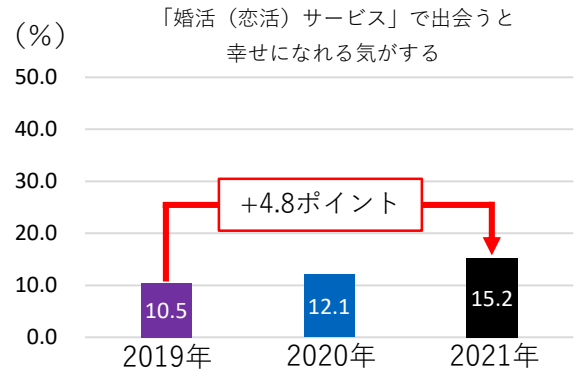
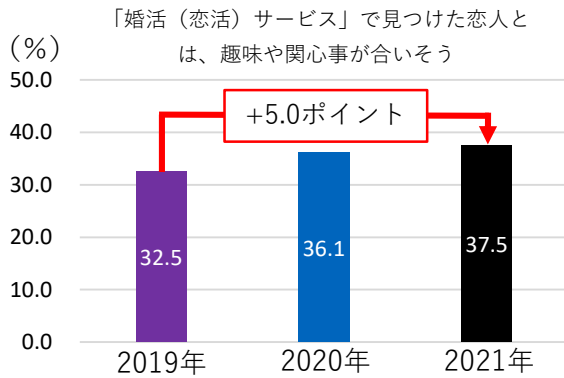
この2年間で婚活サービスのイメージは、「効率的な手段」という認識が高まるなど変化している。

■ 「婚活（恋活）サービス」についての考え（2次調査/恋愛もしくは結婚意向のある婚活サービス非利用独身者および婚活サービス利用実績のある独身者/それぞれ単一回答/19年調査差の増加幅・減少幅の上位3項目を抜粋）

※ややあてはまる、非常にあてはまる の計

※婚活サービス：結婚相談所、ネット系婚活サービス、婚活パーティ・イベントの3サービス

※少数第2位を四捨五入しているため、差分とグラフ上の数値の単純計算と数値が異なる場合がある



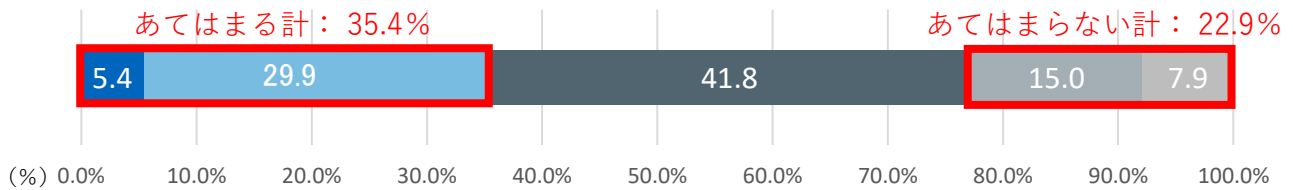
婚活の意識において、3割以上が「オンライン婚活であればコロナ禍でもできる」や「婚活には新型コロナウイルスの流行は関係ない」「オンライン婚活は気軽にできる」と捉えている。同様に、オンラインデートの意識では、リアルデートよりも「費用を抑えながら婚活ができる」や「時間が自由」「周囲の目線を気にせず会える」と3割以上の方が捉えており、あてはまらないと感じる層より多い。

- 婚活サービスに対する意識（2次調査/恋愛もしくは結婚意向のある婚活サービス非利用独身者および婚活サービス利用実績のある独身者/それぞれ単一回答）※小数第2位を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある

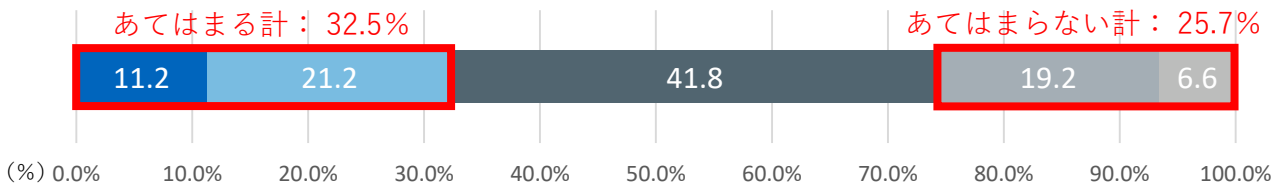
婚活に対する意識

■ 非常にあてはまる ■ ややあてはまる ■ どちらとも言えない ■ あまりあてはまらない ■ まったくあてはまらない

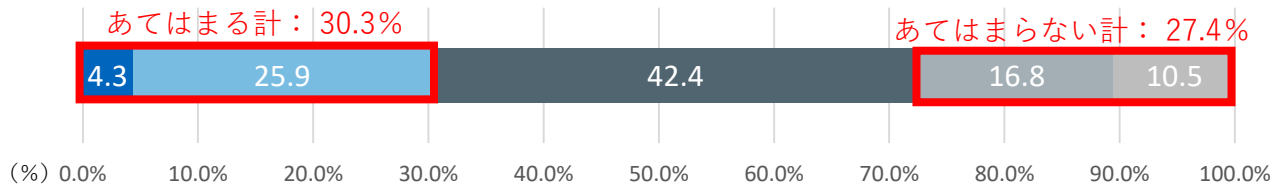
<オンライン婚活であればコロナ禍でもできると思った>



<婚活には新型コロナウイルスの流行は関係ないと思った>

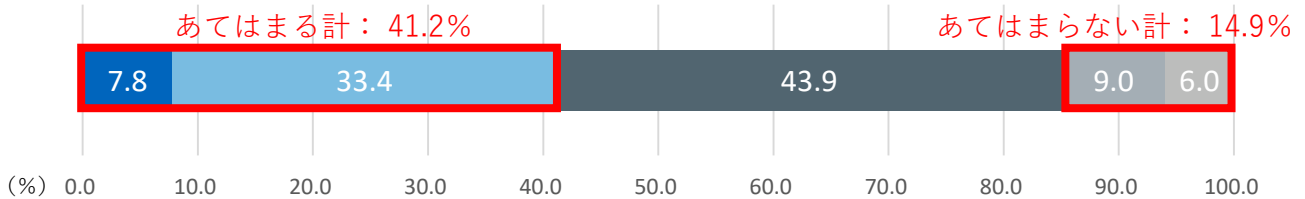


<オンライン婚活は気軽にできると思う>

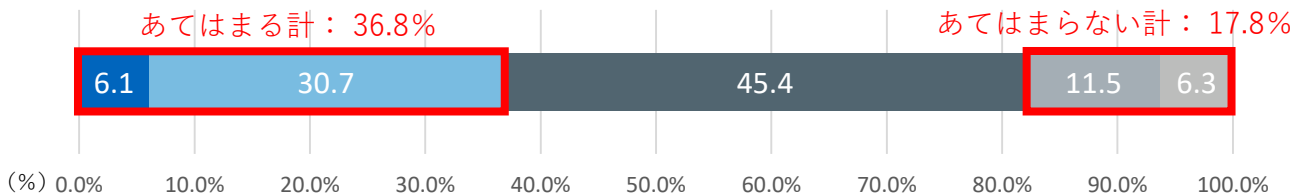


オンラインデートに対する意識

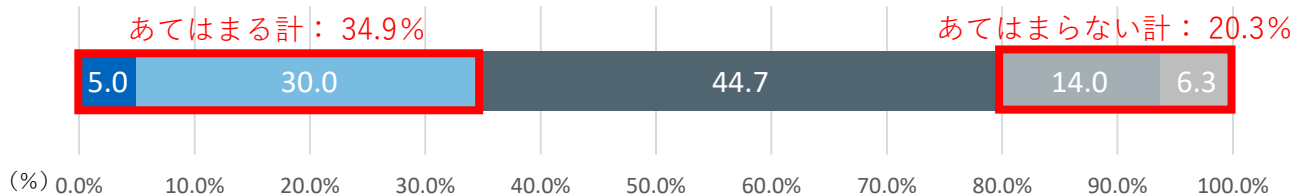
<オンラインデートはリアルデートよりも費用を抑えながら婚活ができる>



<オンラインデートはリアルで会うよりも時間が自由>



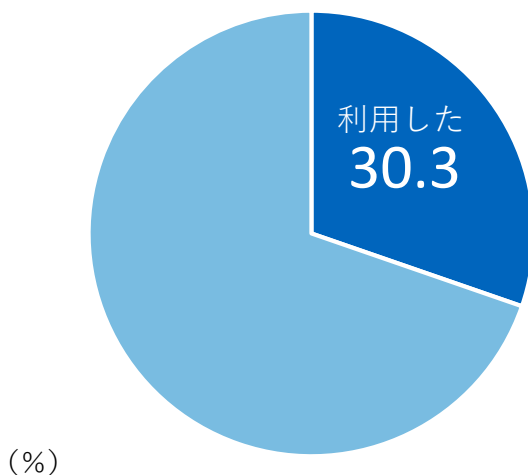
<オンラインデートはリアルよりも周りから見られることがないため、周囲の目線を気にせず会える>



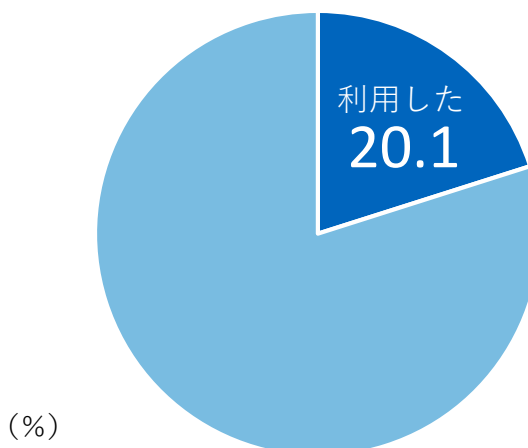
オンラインサービスの利用経験は結婚相談所で30.3%、婚活パーティ・イベントで20.1%と、ネット系婚活サービス以外でのオンライン利用が進んでいる。

■ 婚活サービスごとのオンラインサービスの利用経験率（2次調査／各婚活サービス利用経験者／各単一回答）

◇結婚相談所での担当者とのオンライン打ち合わせ・オンライン面談・オンラインカウンセリング利用率



◇婚活パーティ・イベントのオンラインイベント利用率



リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人一人のライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、メディア&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、4万5,000人以上の従業員とともに、60を超える国・地域で事業を展開しています。2019年度の売上収益は2兆3,994億円、海外売上比率は約45%になります。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人一人が輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここがない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.co.jp/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>